

## 令和3年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ 細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1	①	文化観光創出事業	H24 ～ R3	平成25年度に策定した「豊見城城址跡地利用基本計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、必要な施設等の設計や整備等を実施する。	・磁気探査業務、埋蔵文化財調査報告書作成業務、地積測量図作成業務の実施 ・園路等整備工事の実施 ・用地購入及び物件補償	・磁気探査業務、埋蔵文化財調査報告書作成業務、地積測量図作成業務の完了 ・園路等整備工事の完了 ・用地購入及び物件補償の完了	【今後のスケジュール】 ・施設整備(～R3)  【R4成果目標】 年間来場者数:2万人	【R4成果目標設定の考え方】 類似観光施設の実績を参考に設定した。
1	③	観光振興地域環境美化強化事業	H25 ～ R3	南国沖縄らしい景観や、魅力ある観光地づくりを図るため、大型商業施設及び宿泊施設などが所在する豊崎、瀬長地域の市道植樹樹の除草清掃や、プランターの植栽管理を行い美化強化に努め、魅力ある観光地づくりに取り組む。	①植栽樹の管理(除草清掃・防除工) ②プランターの植栽管理(灌水)	魅力的な観光地としての景観形成を図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 植樹樹の除草清掃、花木の植栽管理(灌水等)を継続して行う。	【R3成果目標設定の考え方】 対象者のうち大多数が魅力的な観光地としての景観形成が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
2	②	放課後児童クラブ利用支援事業	R2 ～ R3	放課後児童クラブの利用者支援をすることで、子どもたちが育成支援体制の整った安心・安全な環境で過ごすことができるようになり、保護者の子育てへの負担感の軽減を図る。	ひとり親家庭等の児童クラブ利用者へ利用料を減免した児童クラブに対し、補助を行う。  対象人数:185人分	安心・安全に子どもを預けることができ、子育てへの負担感が軽減されたか(80%以上)を含め、対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業の在り方を検証する。	【今後のスケジュール】 利用者支援を行うことで、公的施設で活動している児童クラブとの格差是正並びに、保護者の負担軽減及び利用者の増加を図る。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が負担が軽減されたと考えられる値として設定した。また、本事業の在り方についてアンケートにより検証する。
3	①	特別支援教育支援員配置事業	H28 ～ R3	小中学校において普通教室に通う特別に支援を要する児童生徒の教育活動の支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、教育活動の充実を図る。	特別支援教育支援員の配置:30人 特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続して支援員を配置し、支援対象児童生徒が十分な教育が受けられるようにする。	【R3成果目標設定の考え方】 保護者のうち大多数が特別支援員の教育相談等の支援により教育活動の充実が図られたと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。
3	②	学力向上サポート事業	H24 ～ R3	小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を粉うことで学力向上を図る。	学力向上推進補助員を11人配置する。 小学校:8人 中学校:3人	沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 ①小学校:+2.7ポイント以上 ②中学校:+0.6ポイント以上	【今後のスケジュール】 R4年度までに県平均正答率との差を、小学校において+2.7ポイント、中学校において+0.6ポイントを目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和3年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	③	スクールソーシャルワーカー配置事業	H27 ～ R3	問題を抱える児童生徒を取り巻く環境の改善を図り、児童相談所等関係機関とのネットワーク構築のため、スクールソーシャルワーカーを配置し、社会福祉の観点から支援を行う。	スクールソーシャルワーカーを3人配置する。市内小学校8校、中学校3校に対し巡回配置する。	支援対象ケース改善率:40.10%以上(改善ケース件数/支援対象ケース件数)	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続してスクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関との連携体制を構築・維持する。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
3	④	不登校等対策支援事業	H24 ～ R3	不登校や問題行動を抱える児童生徒に対し、各種支援員を配置し、生徒指導や教育相談等、適切な指導を行い学校復帰や社会的自立を支援する。	学習支援補助員配置:3人(中学校:1人) (適応指導教室:2人) 登校支援員配置:8人	不登校児童生徒復帰率:20%以上(学校復帰人数/新規不登校者数)	【今後のスケジュール】 R4年度まで継続して支援員を配置し、学校復帰率20%を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 過去の実績値を参考に設定した。
3	⑤	英語教育推進事業	H25 ～ R3	国際化時代に対応できる人材育成を目的に、中学校へ外国人英語講師を配置し、小学校へ日本人英語講師を派遣する。	外国人英語講師(ALT)の配置:3人 日本人英語講師(JTE)の派遣:小学校8校	【小学校】 英語に対する興味・関心が高まった児童の割合73%以上 【中学校】 沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+2.5ポイント以上	【今後のスケジュール】 継続的に外国人英語講師の配置、日本人英語講師の派遣を行い、児童生徒の英語学習および国際理解の向上を図るとともに、令和4年度の県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差+2.5ポイントを目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 小学校 対象者のうち大多数が英語に対する興味・関心が高まったと考えられる値として設定した。また、本事業のあり方について、アンケートにより検証する。 中学校 過去の実績値を参考に設定した。
3	⑥	ICT教育推進事業	H24 ～ R3	R2年度より整備した児童生徒用端末の活用促進を図るため、各学校へ情報教育指導補助員を配置する。 情報教育指導補助員が児童生徒用端末の活用方法を提案、または支援することで教育の情報化を促進し、教育の質を高めるとともに、学習の効率化を図る。	情報教育指導補助員派遣:11人 教師用タブレットPC整備事業:12支 電子黒板整備:8支	①教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。 ②児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	【今後のスケジュール】 ICT機器の整備及び情報教育指導補助員の派遣を継続し、R3年度のICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合80%を目指す。	【R3成果目標設定の考え方】 ①事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の教師へのアンケート調査を実施し、ICT機器等の使用により効果的・効率的な板書や資料提示ができたという割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。 ②事業の成果目標として、ICT機器を導入した学年の児童へのアンケート調査を実施し、授業がわかりやすくなったと回答した割合を80%以上とした。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるといえる数値として設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年度夏頃)までに把握できるものを記載している。

## 令和3年度 沖縄振興特別推進交付金(市町村)成果目標一覧

豊見城市		事業名	計画期間	事業概要		R3成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			R3事業内容	R3活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
3	⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際の必要な派遣費の助成を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	対象児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
3	⑧	児童生徒派遣費補助事業(部活外)	H25 ～ R3	本市の児童生徒がスポーツ及び文化活動において、県代表選手として県外大会へ出場する際に必要な派遣費の補助を行う。	児童生徒派遣費の一部を補助	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	【今後のスケジュール】 継続して児童生徒の派遣費の一部補助を行う。	【R3成果目標設定の考え方】 児童生徒が広い視野を持てたかどうかを検証するにあたっては、当該児童にアンケートを実施することで効果を図ることとする。80%以上の設定については、対象者のうち概ね肯定的であるという数値として設定した。
4	①	デジタル博物館事業	R2 ～ R3	歴史・文化に関わる資料の収集とデジタル化を行い、デジタルシステムに集約・整理・公開する。	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業 10万点 地域資料収集作業 8地域 収蔵品写真撮影 4,050点 民話資料データ化 650話	収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業(10万点)、地域資料収集作業(8地域)、収蔵品写真撮影(4,050点)、民話資料データ化(650話)の完了、ホームページの公開	【今後のスケジュール】 デジタル博物館の広報活動 令和4年度成果目標 デジタル博物館サイトの年間アクセス数 56,000回/年	【R3成果目標設定の考え方】 収蔵・収集する資料量から勘案して設定した。
5	①	サッカーキャンプ誘致推進事業	R1 ～ R3	サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入環境を強化し、継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。	サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理及び草種変更	サッカーキャンプ誘致件数:2件/年	【今後のスケジュール】 令和5年度以降、指定管理制度導入による削減額を調査・検討し指標を設定する。	【R3成果目標設定の考え方】 他市町村のサッカーキャンプ受入状況を参考に設定した。

R3活動目標(指標):令和3年度における当該事業の主な取組や事業量をあらわしたものの。

R3成果目標(指標):令和3年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。